

# 菊陽人 りさーち



ますだ はるか  
**柵田 遥香さん (8歳)**  
【井口】

- 趣味 おにごっこ
- 自分を一言で表すといつも明るい!
- 自慢 家のお手伝いをよくすること
- 今一番やりたいこと 動物園に行きたい!

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。  
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡させていただきます。



うえむら ゆきし  
**上村 幸士さん (8歳)**  
【馬場楠】

- 趣味 サッカー
- 将来の夢 サッカー選手
- 自慢 足が速いこと
- 家族に伝えたいこと ハウステンボスに連れて行ってほしい

# ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声  
人権  
作文シリーズ  
【No.34】

問い合わせ  
人権教育・啓発課  
☎232-2113

◇印以降の文章は先生のコメントになります。

## 人権啓発標語

- ◇差別の矢  
心のおくに つきやたる  
菊陽北小学校5年 長野由尚・黒木健士朗・川俣佑允
- ◇うれしいな  
となりの友と助け合い  
菊陽西小学校4年 金澤 琴子
- ◇やさしさは  
心をつなぐ 第一歩  
菊陽南小学校4年 村上 昌優
- ◇忘れない  
君に言われた「ありがとう」  
菊陽中部小学校6年 中矢 優香
- ◇友だち 大好き  
みんな 大好き やさしい町  
菊陽中部小学校6年 土肥 雅貴
- ◇だいじょうぶ  
一人じゃないよ みんないる  
武蔵ヶ丘北小学校 田尻ちかの
- ◇協力し  
みんなでなくそう このいじめ  
武蔵ヶ丘北小学校 中原みのり
- ◇伝えよう  
自分の気持ち とどくまで  
武蔵ヶ丘中学校1年 小田 若奈
- ◇「いやなんだ」  
その一言が 明日への一歩  
武蔵ヶ丘中学校2年 池田 美咲
- ◇言うだけで  
動かぬ君も 共犯者  
菊陽中学校1年 益田 克弥
- ◇どうしたの?  
その一言で救われる  
菊陽中学校1年 津々浦花奈

## WE ARE THE WORLD

～ぼくらはなかま～に取り組んで  
武蔵ヶ丘北小学校6年 松岡 朋美

私は初め WE ARE THE WORLD を英語で歌うのは無理だと思っていました。それに差別をなくそうとかいっているけど、どう無くしていくのか分かりませんでした。でも、WE ARE THE WORLDのDVDを見てマイケルジャクソンさんたちが、飢餓で苦しんでいた、病気で苦しんでいるアフリカの人たちのために行動を起こしているのを見たら、差別を無くすためには行動することだと分かりました。でも子どもの私たちは、どう行動すればよいのか分かりませんでした。だけど、私はマイケルジャクソンさんたちの歌を歌うことで、子どもでも訴えることはできると思いました。そう思えば、WE ARE THE WORLD を英語で思いをこめながら歌えるようになったし、声も大きく出るようになりました。私は差別を無くしたいと思っているし、



▲松岡 朋美さん

昨年12月の「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす菊陽町子ども集会」の発表で行動にも出来たと思います。WE ARE THE WORLDに取り組んで差別を無くするという気持ちがますます強くなったし、みんなで協力する部分もあったから絆も深まったのかなと思いました。やっぱり差別を無くしたいという気持ちはいいことだけど、行動にうつしたらもっといいと思いました。なので、私も行動にうつして小さなことからでも実行して、自分の身の回りのおかしいことからなくしていきたいです。  
◇私たちは、差別は人と人を切り離すこと、差別をなくすとはつながりあうこと、差別をなくすために行動することを大事にしてきています。他校からたくさんの感想をもらって、子どもたちも思いが伝わったと喜んでいました。

### 武蔵ヶ丘北小6年生の町子ども集会での発表に対する他校参加者からの感想紹介

- ▶私たちが安心できるクラス学校を作っていきたい。
- ▶知らないふりをせず助け合いたい。
- ▶みんなで協力したら大きな力になる。
- ▶ぼくらは地球の子どもたちというのがいい。
- ▶未来を築くのは私たち。
- ▶なかまの大切さが分かった。
- ▶生きていることはありがたい。
- ▶地球のみんなは家族だ。
- ▶この曲が作られたわけを初めて知った。
- ▶差別は人を切り離すのでつながっていくと思った。

## 菊陽句会報

## きくよう文芸

冬帽子押へて渡る五号橋  
水仙の床に一輪則天去私  
由布岳を仰ぐ一際樞紅葉  
着ぶくれて益々母似を諾へり  
山茶花や匂ひほどけて散り急ぐ  
風邪の児の機嫌取りつつひもすがら  
吊し柿寡黙に夫は皮を剥き  
病む友の笑顔再び賀状書く  
冬の朝あれこれ迷ふ齢かな  
袖子をもぐ爺ちゃん脚立大丈夫  
納め句座空席の友案じつつ

坂本百合子  
田中 郁子  
井 子文  
財津 早雪  
原野レイ子  
力 幸子  
寺尾千代子  
高橋 孝子  
堀川 妙子  
佐藤 健  
吉野 早苗

山茶花の語り掛くごと零れけり  
夕映えや阿蘇の五岳も深眠り  
郵便も人も来ぬ日や冬ごもり  
虫好きの孫に冬眠解く夕べ  
菊満開散歩の犬と佇みて  
落葉焚き一人の小さき箸を埋め  
阿蘇五岳要に据えて大枯野  
聖夜待つ満天の星瞬きて  
父母を語りつ妻と日向ぼこ  
終列車寒気を刻み過ぐる音

## 短歌会

限りなく濃き青空に続く峰麓の里は霞んで見えし  
ビニールに白く輝く霜降りて少し遅れて冬始まりぬ  
つまづきところろぶ一瞬目覚めては哀しきかなや老いての夢は  
くれなゐの光消えゆく高空を流るる雲より星ひとつ出づ  
吾が通る畔にタンポポ大低く冬日を受けて鮮やかに咲く  
本を読み声つまらせる時々の吾の姿に子らのまなざし  
春夏の地球の痛手を包むごと今日秋の日の光やさしき  
朝々に聞く山鳩の声絶えて草に二つの冷たき卵

今村 貞子  
梅田 國雄  
河北 幸一  
菊川あさみ  
佐藤せい子  
中村トシエ  
森 敦子  
山川 カヅ

井上久美子  
宮川ユキエ  
日高 妙子  
曾我 育代  
曾我トモ子  
紫藤 祥子  
村上 朋子  
野口 令史  
松橋 強  
佐藤 澄世